

## 第5回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・同推進賞受賞者

標記の賞につき、会員の皆さまより推薦いただいた候補のなかから選考の結果、2011年度は学会賞該当なし・推進賞として下記2件の授賞を決定いたしました。今後とも本賞の発展にご協力くださいますよう、お願いいたします。

### ◆第5回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞

〔賞の概要〕

『アート・ドキュメンテーション研究』、『アート・ドキュメンテーション通信』、その他の雑誌に掲載の論文・記事、図書、データベース、展覧会、ウェブサイトのなかから優れたものを選出。会員に限らない。

受賞	該当なし
----	------

### ◆第5回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション推進賞

〔賞の概要〕

アート・ドキュメンテーション関係業務の現場において、効果的かつオリジナリティを発揮した者、あるいは機関を選出。会員に限らない。

受賞	財団法人 観世文庫 長年にわたる能楽資料の保存と調査研究に基づく「観世アーカイブ」の公開に対して
受賞理由	財団法人観世文庫は観阿弥・世阿弥以来、観世宗家に伝えられた資料の保存と活用を図るために、1991年設立された。観世文庫所蔵の資料は歴代の宗家の強い意思のもとに、多くの研究者の協力を得て整理と調査が進められ、2009年に至り「観世アーカイブ」として、資料解題と画像を含む多数の資料情報のウェブ公開が果たされた。日本を代表する表現芸術である能楽の継承者の立場から、資料の保存とネットワーク時代に即応した公開に積極的に取り組まれる姿勢は、アート・ドキュメンテーションの実践として範とされるべきものである。  「観世アーカイブ」（財団法人観世文庫ウェブサイト内）URL <a href="http://kanze.net/index.php?id=97">http://kanze.net/index.php?id=97</a>
受賞	竺 覚暁 氏（金沢工業大学 教授、ライブラリーセンター 館長） 建築史・技術史ライブラリーおよびアーカイブズの重要性に関する社会的提言と実践に対して
受賞理由	竺覚暁氏は建築史及び技術史研究の中で、この分野に関するライブラリーおよびアーカイブズの重要性に早くから注目し、社会的な提言を続けてこられた。また、その具体化として歴史的工学書のコレクションである「工学の曙文庫」の構築や現代建築家のアーカイブズ資料の保存を企図した「建築アーカイヴズ研究所」といった事業の中心的な役割を担っている。技術史資料や建築アーカイブズの保存についての議論が高まっている現在、氏の着眼と実践は、先駆的な業績として高く評価されるものである。  「金沢工業大学 建築アーカイヴズ研究所」URL <a href="http://www.kanazawa-it.ac.jp/archi/index.html">http://www.kanazawa-it.ac.jp/archi/index.html</a>

※第6回 野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・推進賞の推薦募集は、2012年1月下旬の開始予定です。詳細は『アート・ドキュメンテーション通信』92号および学会のウェブサイトにて告知いたします。会員のみならず、ぜひ多くの推薦をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：アート・ドキュメンテーション学会事務局

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内  
電話：03-5307-1175 E-mail:jads@univcoop.or.jp